

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 4年 7月 20日

事業所名 はなうーる2nd

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	5	1			
	2	職員の配置数は適切である		3	3		児童指導員を増員して、支援の質を向上さ せる
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	1	4	1		人員基準は満たしているが、児童の安全等 を考慮し必要に応じ適宜対応する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	3	3		職員会議等を通じ て、検討議案を調 整している	主任クラスでの話し合いが主となっているの で会議の時間帯を調整し参画を促したい
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	5	1			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	5	1			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	1	2	3		今後外部評価を検討したい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	5	1			
適切な支 援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	6				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	2	3	1		ツールなどは今後検討する
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	5	1			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	5	1			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	4	2		現時点の職員数で できる限りの事は 実施している	より細かい支援を実施予定
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	4	2		現時点の職員数で できる限りの事は 実施している	より細かい支援を実施予定
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	6				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	4	2			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	6				日々の振り返り、個々の状況や変化について話し合 い、保護者様へLINEを送らせて頂いている。その際、 家庭での状況も確認している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ サービス計画の見直しの必要性を判断して いる	6				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	3	3			支援計画を基に、ガイドラインに則って個別支援計画 を作成し、個々の特性に応じて活動を工夫し、支援を 行っている。職員間で支援の内容を確認し、共有す る。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	6				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	5	1		保護者を通じて双 方の行事を照合し ている。必要に応じ て学校へも情報提 供を行う	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている		4	1	無記入1 現在該当する児童 がいない	医療的ケア児がいないので対象となる児童 が入ってきたら適切に対応する
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	2	3	1		新型コロナの影響で、感染対策の観点から 連携が不十分だと感じる。ZOOM等を利用し て新たな連携体制を構築していく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	1	4	1		現在、該当する児童生徒がいないが、今後 必要に応じて対応する
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている		4	2	各団体の研修、 Webセミナーでの 研修は参加してい る	今後、地域のセンターも活用したい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	3		3	コロナ過で連携は 難しいが、児童館 の活用は行ってい る	新型コロナの影響で、感染対策の観点から 連携が不十分だと感じる。ZOOM等を利用し て新たな連携体制を構築していく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	1	3	2	6月に協議会参加 予定	新型コロナの影響で、感染対策の観点から 連携が不十分だと感じる。ZOOM等を利用し て新たな連携体制を構築していく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	6				
保護者へ の説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている		5	1	コロナ過で十分な支 援ができていない といえない	センターを活用して保護者にすすめていく
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	6				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行ってい る	5	1			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している		1	5	コロナ過の為、極力 保護者会の開催は控 えている	今後は開催したい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	6			体制は整備して いるが、苦情など はあがっていない	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	5	1			
	35	個人情報に十分注意している	4	2			個人情報について研修及び勉強会で理解を 深めていく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	5	1			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	1	4	1	コロナ過の為、招待 は行っていないが、 行事への参加や協力 は得ている	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	2		無記入1 左記のマニュアル以外にも必要に応じてマニュアルを作成し質の高い支援を行う。	マニュアルの勉強会、職員間での再確認を行い、日々の現場で活かされるように徹底していく。保護者様への周知は十分ではないので改善していく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	2		年間計画に位置付けている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	4		身体拘束を前提にしていない	対象となる児童はいないが、マニュアル、同意書、委員会を設置し対応できるようにする
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	4		該当児童生徒がない	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	2	1		自己報告書、ヒヤリハットの事例を安全対策会議で共有している。全職員への周知を工夫していく